

広報めまた Numata 1

2018.12.20
Vol.625

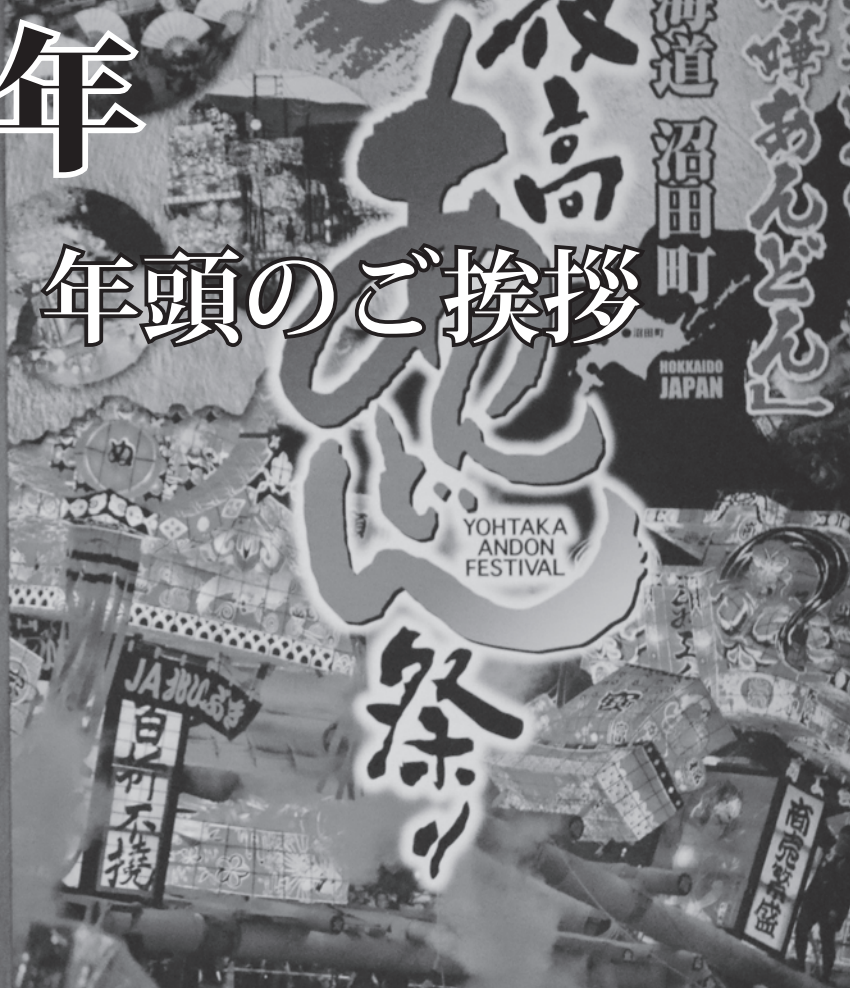
賀正



沼田町では、221人が亥年生まれです。
沼田小学校5・6年生の児童、亥年生ま
れが集まって記念の写真をパシャ ※2名欠席

謹賀新年

年頭のご挨拶



沼田町長 金平嘉則

新年、明けましておめでとうござい
ます。日頃より町行政運営に対しご理
解とご協力をいただいておりますこと
に、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、本町の基幹
産業であります農業につきましては、
6月からの低温・日照不足、7月豪雨
災害などにより収量及び品質ともに平
年を大幅に下回る結果となり、今年の
天候に期待を寄せるところであります。

また近年、全国的に災害が頻発する
中、本町においても7月には大雨によ
る農地災害、9月には台風21号に伴う
暴風被害と北海道胆振東部地震による
全町停電が発生し、幸いに本町におい
ては人命に関わる被害はございません
でしたが、日頃からの備えの重要性に
ついて再認識したところであります。

平成30年度は町づくりの指針であり

ます「第5次沼田町総合計画」の最終
年度であり、昨年6月より様々な実証
運行などの結果を踏まえ、新たな地域
公共交通として「乗合タクシー事業」
をスタートし、11月末では延べ4千人
以上の皆様に利用され、今後も地域公
共交通の要として浸透されていくもの
と思っております。また、新たな事業
として近隣の高校生を対象とした地元
企業10社が参加した企業説明会「ぬま
わーく2018」を開催したところ高
校生80名の参加があり、盛況のうちに
終了することができ、今後もこのよう
な取り組みを通して沼田町内での雇用
促進・移住定住に繋がることに期待す
るところであります。

一昨年、平成29年の人口は12名の社
会増（転入超過）となりましたが人口
数の維持には至らず、少子高齢化と過
疎化が進む環境は、町政運営にとって
決して容易なものではなく、町民一丸
となつてふるさと「沼田町の魅力」を
高め、情報を発信していくことが必要
と考えております。

「平成」の元号が4月で終わる本年が、
町民皆様にとつてご健康で充実した実
り多い一年となることを心からご祈念
申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

沼田町議会議員

渡邊敏昭



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご健勝で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の農業情勢は、春からの低温長雨、日照不足に加えて、7月3日の豪雨に見まわれまして、十分な回復が出来ないままに秋の収穫を迎えることとなり、本町においては、稲作も畑作も不作の年となつてしまいました。

これも、地球規模での温暖化の影響と思われる、日本各地で異常気象による被害を受けました。また、9月6日の胆振東部において、予期せぬ大地震が起こり、北海道経済に深刻な影響を及ぼしました。道内観光地においては、未だ以前のように大勢の観光客が訪れることが無く、風評

被害も収まらない状況であります。

さて、今年は4月で「平成」が終わり、新たな年号が始まります。本町においては、第5次沼田町総合計画が平成30年度で終了し、これまでの課題や問題点を見直し、第6次の総合計画が動き出します。本町議会におきましても、既に地方創生調査特別委員会を設置し、これまでの検証と今後の課題について調査を行い、意見を取りまとめたところであります。

これからの沼田町は、人口減少の時代の中で、いかに農業や商工業の活性化を図っていくかを皆さんと共に考え、町の努力で少しずつ増えて来た社会人口を今後も絶やさずに、沼田の特色を活かした環境づくりを進めることが大切だと思います。特に、子育て世代が安心して暮らせる町づくりが重要で、そのためには町が進めるコンパクトで暮らしやすい町づくり「コンパクトエコタウン」を皆さんと共に早く具現化していくことが必要と考えます。

当議会としても、今後も国政政策や町政課題を要望書や意見書にまとめ、内閣や関係部局に提出し要望活動を進めてまいります。そして、今後も町民の付託に応えられます様、努力することを誓うとともに、皆様の方の変わらぬご指導をただけまことをお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

沼田消防団長

大原正己



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、穏やかな新年を迎えられたことと思います。また、日頃より我々消防団の活動に多大なご理解とご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

昨年は台風や集中豪雨など異常気象ともいふべき局地的な自然災害が相次ぎ、多くの市町村に甚大な被害をもたらしたことは記憶に新しいところではありますが、当町におきましても大自然の猛威を受け、7月には蝦夷梅雨前線の影響で集中豪雨が発生し一部地域に避難勧告、9月には台風21号が道内を横断し大きな被害を受けたかと思う間もなく、翌日の深夜には北海道胆振地方中東部を震

源とする最大震度7の大地震が発生し各地域に被害をもたらした。道内全域で初の大規模な停電が起きるといふ「ブラックアウト」が発生し地域住民の生活を脅かす状態が続発した一年でありました。また、昨年の火災概況を振り返ってみますと12月1日現在で1件の火災が発生しましたが、早期の発見通報と敏速な対応をしていただき被害を最小限に抑えられました。深川地区消防組合管内の火災発生件数も14件と前年同期（21件）の発生件数を大きく下回りました。このことは地域住民一人ひとりの防災意識の高さの表れであり、今後も火災発生を未然に防ぐためにも火災予防に対する啓蒙並びに住宅用火災警報器の設置促進、適正管理に努めて参ります。

近年、地球温暖化を始めとする自然環境の変化で様々な災害が相次いでおり、町民からの安全、安心に対する消防団員に寄せられる期待はますます大きくなっています。

沼田消防団といたしましては、関係機関、町内会自主防災組織などと協力し、総合的な地域防災力の充実・強化を図り、全力を挙げて取り組んで参ります。

結びに、この1年が無火災、無災害でありますと共に、町民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

深川警察署 沼田警察庁舎所長

嵯峨 康成



新年あけましておめでとうございます。

沼田町の皆様には、平素から交通安全、暴力追放、青少年の健全育成のほか、犯罪予防のための諸活動にご参加いただいていることに対し厚く御礼を申し上げます。

皆様ご承知のとおり、当沼田警察庁舎は一昨年4月から深川警察署との統合により新たなスタートを切らせていただき、統合前に比べてパトロール活動が強化され、刑法犯の認知件数や交通事故の発生件数が減少する

など期待された統合の効果が認められているところです。

さて、昨年の治安情勢を振り返りますと、沼田町では刑法犯の認知件数は前年に続き減少し、また交通事故死ゼロの連続日数も更新されており、これも各関係機関や町民の皆様のご支援ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

しかし、7月に豪雨による水害、そして9月には地震、停電が発生しており、また、道内では高齢者被害の特殊詐欺や悲惨な交通事故死亡事故が依然として後を絶たないなど警察を取り巻く諸情勢は楽観を許さない状況です。

このようなことを踏まえ、深川警察署、そして沼田警察庁舎といたしましても「犯罪や事故の無い安心して暮らせる北海道の実現」に向け、職員一丸となって地域の皆様に寄り添いながら治安維持に邁進する所存ですので、これまでと同様にご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、沼田町の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

沼田弾薬支処長兼 沼田分屯地司令

池田 康二



新春のお慶びをお祝い申し上げます。

沼田町の皆様には、日頃から陸上自衛隊・沼田分屯地に対するご理解、温かなご支援、ご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

8月に転勤となり、ここ沼田町にありますが沼田分屯地で勤務となりました。8月下旬には、盛大な夜高あんどん祭りに参加させて頂きましたことは思い返しても心踊る深く印象に残る出来事でした。

9月6日に起きました北海道胆

振東部地震では、停電に伴う暗闇と不便を経験し、ライフラインに対する日頃からの備えの必要性を痛感する教訓を得ることとなりました。災害の記憶が新しい中、沼田分屯地としましては、皆様の期待に応えるべく、本来任務であります国土防衛をはじめ、各種事態に適切に対処できるよう日々精進して参る所存です。

末筆ながら、沼田分屯地に対する変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、何よりも皆様のご健勝と御多幸、そして沼田町の平和と確かな歩みを祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



未来の担い手を

めまわーく

11/14

ほろしん温泉ほたる館で「めまわーく2018」が開催されました。

「しごと・未来応援プロジェクト事業」の一環として行われ、近隣市町4高校の生徒79名が参加し、本町に事業所を置く10事業所の担当者から、仕事内容等の説明を受けた後、製造品に直接触れるなどの体験をしました。「この会社に入りたい。」と笑顔で話す生徒もあり、これから社会へと巣立つ若者にとって貴重な体験となりました。



新たな地域づくり

地域経営公開型フォーラム

11/16

生涯学習総合センター ゆめっくるで、全国的な課題である人口減少を前提とした新たな地域づくりを考えるフォーラムが開催されました。

フォーラムは「地域経営研究会～持続する地域を目指して」をテーマに、金平町長が「沼田町の特徴を活かしたまちづくり」と題して、本町の進める農村型コンパクトエコタウン構想について講演し、大学院大学至善館 教授の枝廣淳子氏から「持続可能な社会の構築に向けた地域経済の考え方」について講演頂いた後、地域での現状に基づいたまちづくりの進め方についてパネルディスカッションが行われました。



素敵な音色に癒されて

芸術文化普及促進事業～音楽の玉手箱

11/17

沼田町生涯学習総合センター ゆめっくるで、芸術文化普及促進事業～音楽の玉手箱～（音楽の玉手箱実行委員会 主催）として全国各地でコンサートを行っているスーパーウクレレプレイヤー勝 誠二氏によるスペシャルライブが行われました。

さまざまなジャンルの曲が披露され、町のウクレレサークル（菅原瑞枝代表）と一緒に演奏するなど、ステージと客席が一体となり、楽しい時間を過ごしました。



空知を学ぶ

ソラシル未来授業

11/17

暮らしの安心センターで、「ソラシル未来授業～空知を知り、地域の未来を考える～」(北海道空知総合振興局・北海道教育庁空知教育局主催)が開催されました。

北海道150年を機に空知管内の歴史、魅力を再発見し、今後の地域の発展につなげることを目的に授業形式で行われ、沼田町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町の各町での取り組みを伝え合いました。

沼田町からは、中学校生徒があんどん祭りの取組について唄や踊りを交えながら説明するなど、町の魅力を存分に伝えました。



今年の味は？

3町うまいっしょグランプリ

11/20

雨竜町・北竜町・沼田町の3町とJAきたそらち、JA北いぶきで組織する3町営農改善推進協議会(金平嘉則会長)が「3町うまいっしょグランプリ」を沼田町で開催しました。

米とそばの栽培が盛んな3町で1番おいしい町を決定するもので、今回で2度目の開催となります。

お米は「ゆめぴりか」、そば粉は「きたわせ」を使用し、同じ条件で炊き上がったごはんを打ちたてのそばを食べ比べ、投票が行われました。沼田町産のお米とそばはどちらも僅差で2位となりました。

投票結果の集計中には、沼田町産のトマトケチャップを使ったハヤシライスが振る舞われるなど、和やかな雰囲気の中開催され、金平町長は「来年に向けた決意を固める機会にしていきたい。3町が競い合い、より良い農産物の生産ができることを願っています。」と話されていました。



身近な病「がん」を考える

暮らしの保健室

11/22

暮らしの安心センターで、JA北海道厚生連旭川厚生病院 がん相談支援センターの高橋佳枝氏をお招きし、「最近のがん治療と利用できる制度について」をテーマに、講演いただきました。

現在、2人に1人が「がん」にかかる時代と言われているため、参加者は治療との向き合い方や治療に掛かる費用などの制度について改めて学び、相談窓口等を利用し、悩みを解決する重要性を感じる機会となりました。



永年勤続の皆さんへ

沼田町商工優良従業員表彰式

11/22

沼田町商工会主催の優良従業員表彰式が、観光情報プラザで執り行われ、4事業所計13名が表彰されました。また、特に模範的従業員として岩寺木材産業株式会社の岡田 等氏が、沼田町長表彰を受表彰されました。

表彰式では、吉住淳男商工会長から「人手が不足している状況の中、それぞれの事業所で働いていただけていることに感謝しています。これからも商工会として、皆さんをバックアップしていければと思います。」と挨拶がありました。



楽しく笑って

後期高齢者健康教室

12/5

健康福祉総合センター ふれあいで札幌国際大学 講師の本多理紗氏をお招きし、後期高齢者の方を対象とした健康教室が開催されました。

「楽しく笑って、活き活き健康体操」をテーマに、筋力維持・向上や冬場の転倒予防のため、脳を刺激する動作や軽体操、筋力トレーニングなどに約40名の参加者は楽しみながら取り組んでいました。



元気いっぱいに

沼田認定こども園発表会

12/8

認定こども園で、第3回発表会が行われました。

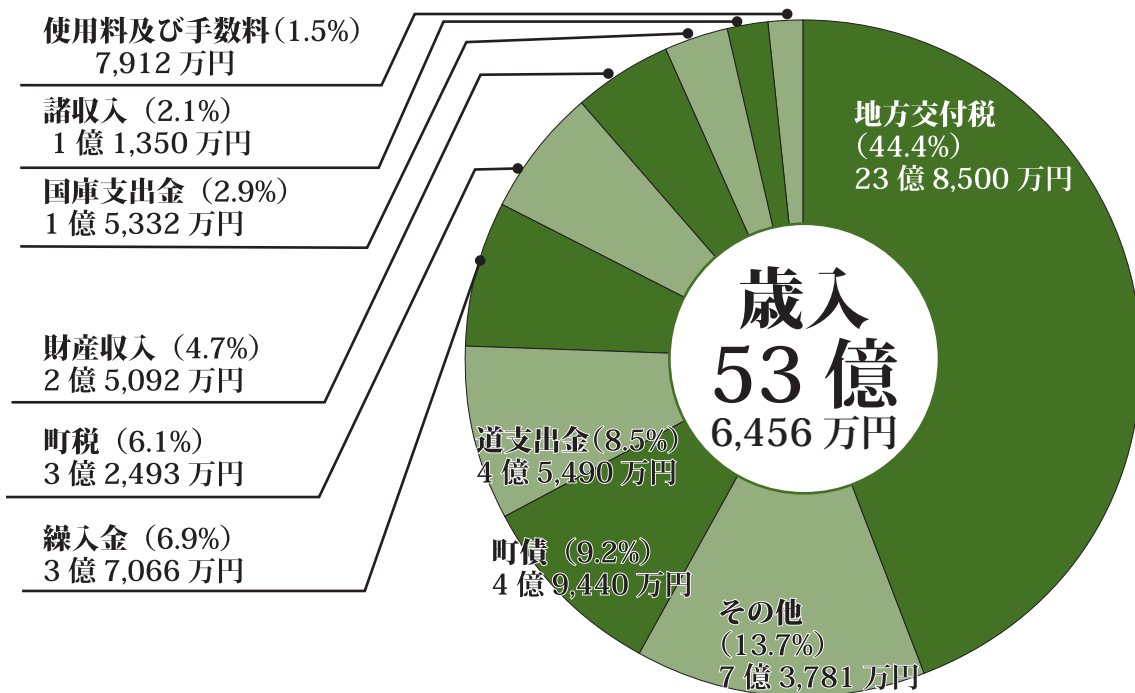
土肥園長から「練習してきた成果を見もらうため、みんな張り切っていますが、緊張もしています。最後まで頑張る園児を応援していただければと思います。」と挨拶がありました。

各組による元気いっぱいの歌や楽器演奏・遊戯が行われ、最後はオペレッタ（台詞、踊りのある劇）でさくら・すみれ組による「ねずみのよめいり」、たんぽぽ組による「ふしぎなキャンディーやさん」を披露。会場からは温かな拍手が送られていました。



平成29年度 町の決算

まちの家計簿といえる平成29年度決算を公表します。
町民皆さんから納めていただいた税金や国、道からの補助金等がどのように使われているかをお知らせするものです。
年々、厳しくなる財政状況の中、節減に努め効率的な財政運営を行ない財源確保に最大の努力を図っていききたいと思ひますので、町の行政について、より一層のご理解とご協力をお願い致します。



一般会計

一般会計の決算額は、歳入が53億6,456万円、歳出が52億5,703万円、歳入が1億753万円の黒字決算となりました。

町民の皆さんが納めた町税は3億2,493万円で、

1人当たり10万4,144円負担したことになります。

これに対し、1人当りに使われた費用は168万4,946円で黒字決算とはいえ依然、自主財源に乏しくその大半を地方交付税や町債（町の借金）に頼る財源内容となっています。

◇備荒資金組合納付金とは：
災害による減収補てん・災害応急復旧事業費やその他災害に伴う費用にあてるために、道内の市町村が一部事務組合を設立し積立を行っているもので、使い道が災害関連等に限定される普通納付金と、使い道に制約の無い超過納付金に分けられています。

町税の負担状況

人口3,120人（30年3月末）

税 区 分	決 算 額	構 成 比	町 民 一 人 当 た り
町 民 税	1億 6,039万円	49.4%	51,407円
固定資産税	1億 2,681万円	39.0%	40,644円
軽自動車税	965万円	3.0%	3,093円
たばこ税	1,869万円	5.7%	5,990円
入湯税	939万円	2.9%	3,010円
合 計	3億 2,493万円	100%	104,144円

借入金の状況（一般会計分）

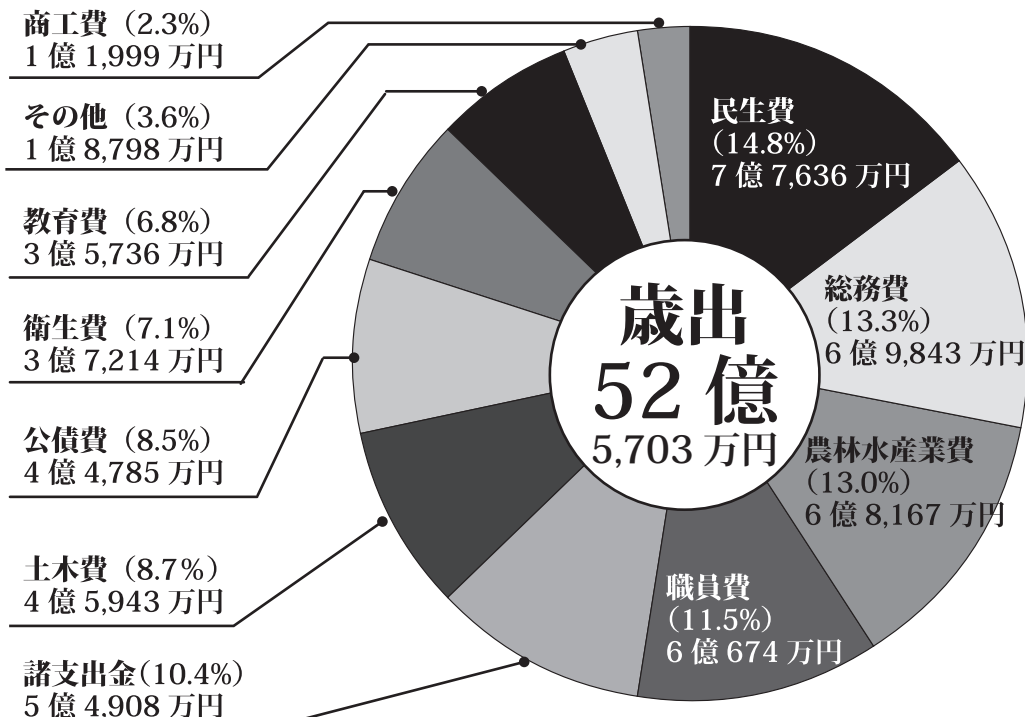
区 分	平成29年度末現在高
農 林 水 産	1,494万円
土 木	844万円
公 営 住 宅	3億 7,397万円
公 共 事 業 等	7,168万円
過 疎 対 策 事 業	18億 4,162万円
一 般 会 計 出 資 債	468万円
緊急防災・減災事業債	1億 5,921万円
臨 時 財 政 対 策 債	3億 8,910万円
そ の 他	1億 87万円
合 計	29億 6,451万円

町有財産の状況（平成29年度決算現在高）

土 地	5,404,275 m ²	車 輜	78 台
建 物	107,663 m ²	絵 画	2 点
山 林	3,554,824 m ²	有 価 証 券	508 万円
		出 資 金 等	3,522 万円
基金（一般会計分）		32億 3,046万円	
財政調整基金		3億 4,676万円	
減債基金		6億 6,274万円	
特定目的基金		22億 1,589万円	
定額運用基金		507万円	
備荒資金組合納付金		5億 2,217万円	

用語の解説

- 総務費…町の内部管理・税務・戸籍・選挙・統計などに要する経費です。
- 民生費…福祉事業、認定こども園運営費などの経費です。
- 衛生費…健康づくり、ごみ、し尿処理などに要する経費です。
- 農林水産業費…農林業の振興などに要する経費です。
- 商工費…商工業・観光の振興などに要する経費です。
- 土木費…道路整備・維持、町営住宅管理などに要する経費です。
- 教育費…小中学校、社会教育、保健体育などに要する経費です。
- 公債費…町の借入金の返済に要する経費です。
- 諸支出金…基金の積立金などに要する経費です。
- 職員費…職員に対して支給される給料と各種手当などに要する経費です。
- その他…議会費、消防費などの経費です。



特別会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

公営企業会計

地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業です。

※特別会計と公営企業会計は、税・使用料・負担金・国道支出金のほか、一般会計からの繰入金等で運営がなされる、効率的運用に努めています。

特別会計

会計名	歳入	歳出
養護老人ホーム	2億8,811万円	2億7,336万円
特別養護老人ホーム	3億2,528万円	3億1,787万円
高齢者グループホーム	3,875万円	3,325万円
介護保険	3億5,947万円	3億3,007万円
国民健康保険	5億9,176万円	5億2,317万円
後期高齢者医療	5,761万円	5,748万円
公共下水道	1億9,042万円	1億8,575万円
合 計	18億5,140万円	17億2,095万円

公営企業会計

会計名	区 分	決 算 額
水道事業会計	収益的	収入 1億5,132万円
		支出 1億4,709万円
	資本的	収入 71万円
		支出 2,161万円

平成30年度上半期 収支状況

平成30年度の上半期（4月～9月）の収支状況をお知らせします。
限られた財源のなかで健全財政を堅持しつつ町民生活の向上を重点に、行財政の効率的な運営に努めています。
この公表を通じ、町の財政がどのような状況にあるかをご覧いただき、住みよいまちづくりにこれからの一層のご理解とご協力をお願いします。

歳

入

執行率
44.9%

歳

出

執行率
29.9%

予算額：48億4,915万円
収入済額：21億7,760万円

予算額：48億4,915万円
支出済額：14億4,975万円

3億1,895万円
1億6,359万円（51.3%）

町 税

7億2,348万円
1億9,388万円（26.8%）

総務費

19億8,447万円
14億5,272万円（73.2%）

地 方
交 付 税

7億5,794万円
2億1,148万円（27.9%）

民生費

8,254万円
4,094万円（49.6%）

使用料及
び手数料

2億9,908万円
6,898万円（23.1%）

衛生費

2億59万円
5,735万円（28.6%）

国 庫
支 出 金

6億5,641万円
1億4,641万円（22.3%）

農 林 水
産 業 費

3億7,499万円
1億891万円（29.0%）

道支出金

8,394万円
7,037万円（83.8%）

商 工 費

2億2,011万円
5,606万円（25.5%）

財産収入

5億7,384万円
1億6,957万円（29.6%）

土 木 費

6億5,669万円
—（0.0%）

繰入金

1億8,723万円
7,862万円（42.0%）

教育費

1億2,476万円
1,411万円（11.3%）

諸収入

3億558万円
1億687万円（35.0%）

公債費

2億4,130万円
—（0.0%）

町 債

3億2,121万円
129万円（0.4%）

諸支出金

6億4,475万円
2億8,392万円（44.0%）

その他

6億3,232万円
2億9,879万円（47.3%）

職員費

※上段が予算額、下段が収入・支出済額で（ ）は執行率です。

3億812万円
1億349万円（33.6%）

その他

町税の収入状況

税 区 分	予 算 額	調 定 額	収入済額	収 入 歩 合
町 民 税	1億4,693万円	1億7,720万円	6,309万円	35.6%
固 定 資 産 税	1億3,516万円	1億3,970万円	7,863万円	56.3%
軽 自 動 車 税	999万円	1,002万円	990万円	98.8%
た ば こ 税	1,728万円	915万円	748万円	81.7%
入 湯 税	960万円	449万円	449万円	100%
合 計	3億1,896万円	3億4,056万円	1億6,359万円	48.0%

特別会計

会計名	予算額	収入済額	支出済額
養護老人ホーム	2億7,940万円	1億3,601万円	1億886万円
特別養護老人ホーム	3億5,994万円	1億967万円	1億4,810万円
高齢者グループホーム	4,394万円	1,874万円	1,523万円
介護保険	3億9,464万円	1億7,022万円	1億3,439万円
国民健康保険	5億6,663万円	2億3,331万円	1億8,711万円
後期高齢者医療	6,374万円	1,553万円	1,690万円
公共下水道	2億741万円	9,296万円	7,436万円
合 計	19億1,570万円	7億7,644万円	6億8,495万円

公営企業会計

会計名	区分	予算額	執行額
水道事業会計	収益的	収入 1億3,539万円	3,566万円
		支出 1億5,203万円	4,654万円
	資本的	収入 -	-
		支出 2,013万円	667万円

町債の借入予定

事業名	借入予定額
過疎対策事業債	1億4,870万円
沼田厚生クリニック医師住宅整備事業	2,560万円
ロータリ除雪車購入事業	860万円
高穂幹線高穂2号橋補修事業	920万円
町道北竜幹線恵北橋補修事業	410万円
町道高台幹線舗装補修事業	2,700万円
融雪溝ポンプ井戸新設事業	2,550万円
消防ポンプ車購入事業	4,870万円
臨時財政対策債	9,260万円
合 計	2億4,130万円

沼田町の財政状況を 家計に例えたら・・・

沼田町の財政を家計に例えた場合、年収約262万円（税収・税外収入）と親からの仕送り約198万円（地方交付税）を合算した約460万円が年額収入となり、このうち約30万円は借金の返済（公債費）に充てなければならず、実際に可処分所得として使えるのは約430万円となります。一方、この家計は、家計費（一般歳出）として年間約454万円を必要としており、収入でまかないきれない約24万円は、借金（公債金収入）として調達しなければなりません。その結果、平成30年度末には、ローン残高（公債残高）は292万円、貯金残高（基金残高）は約289万円となっています。

平成30年度財政状況【一般会計】

○税収＋税外収入	26億2,338万円
○地方交付税	19億8,447万円
公債費（A）	3億558万円
○税収等＋地方交付税－（A）	43億227万円
○一般歳出	45億4,357万円
町債収入	2億4,130万円
例：沼田厚生クリニック医師住宅整備事業	
※毎年必要なお金ではなく、臨時的に必要な多額の事業費の財源とするのが町債です。	
○町債残高予定（H30年度末）	29億1,814万円
○基金残高予定（H30年度末）	28億9,257万円

家計に例えた場合

○1世帯年収	262万3,380円
○親からの仕送り	198万4,470円
ローン元利払（B）	30万5,580円
○可処分所得【年収＋仕送り－（B）】	430万2,270円
○家計費	454万3,570円
不足分＝借金	24万1,300円
例：住宅の改修	
※住宅改修等の必要な経費の不足分（可処分所得の不足分）を補うのが借金です。	
○ローン残高予定	291万8,140円
○貯金残高予定	289万2,570円

気になる数値を、グラフで見よう！

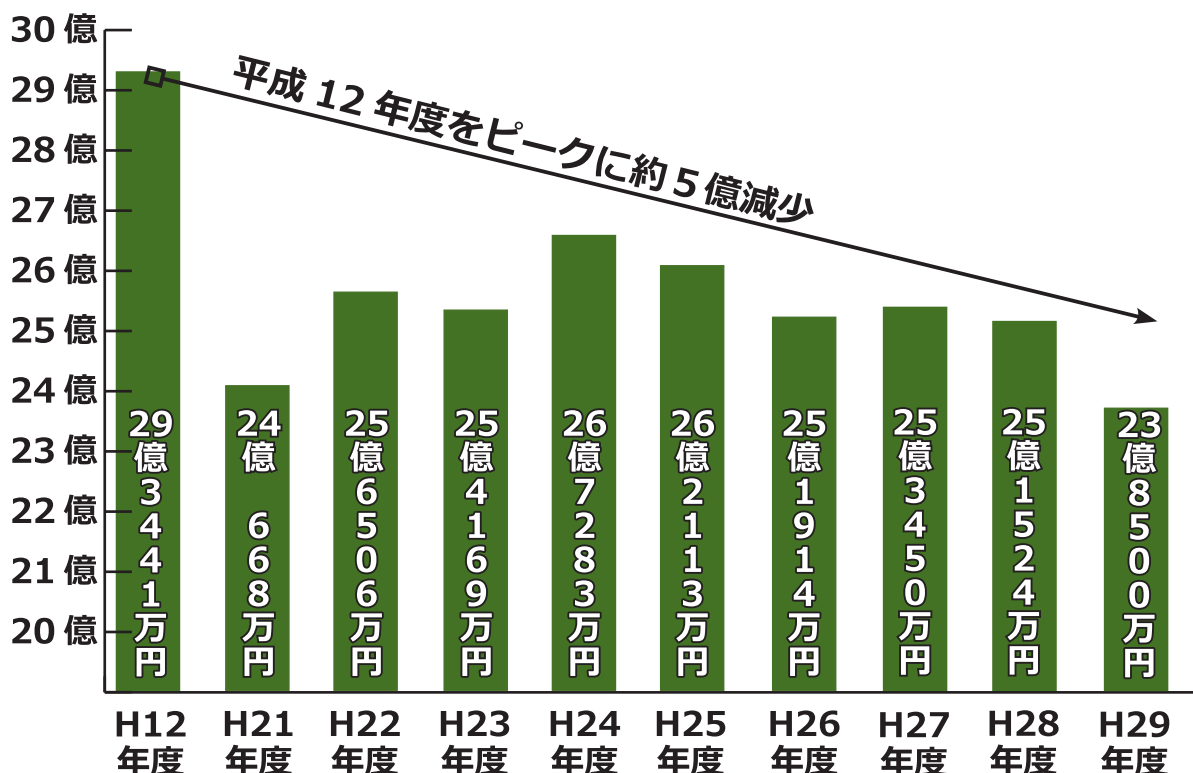
沼田町の財政推移（一般会計）

地方交付税

の推移

平成 29 年度の地方交付税額（普通交付税、特別交付税）は、23 億 8,500 万円で昨年（25 億 1,524 万円）より 1 億 3,024 万円減少しました。

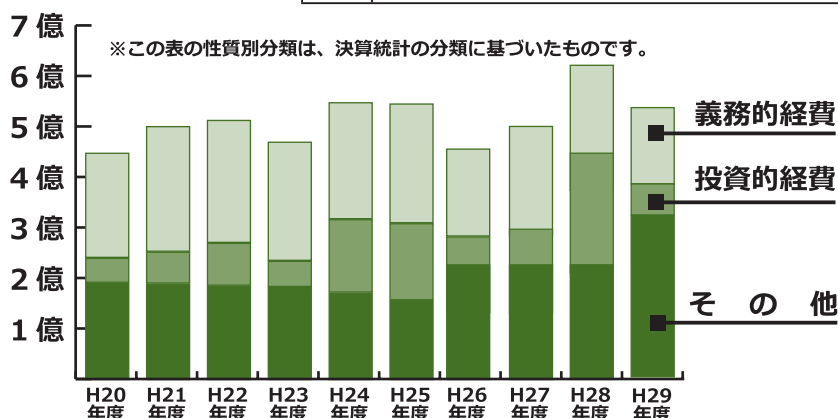
また、平成 12 年度が地方交付税額のピークの年（29 億 3,441 万円）であり、比較すると約 81. 3%の水準となっております。



性質別経費

（歳出）の推移

義務的経費	法律で支払いが義務付けられているもの、収入が減っても簡単に減らせられないもの 人件費：職員給与や議員、委員の報酬など 扶助費：生活困窮者、児童、老人、障がい者等支援の経費 公債費：借入金の返済に要する経費
投資的経費	道路の基盤整備、公共施設の建設、災害復旧費に充てられるもの 公共施設の新增設等や、用地取得などの資産形成に資する事業に要する経費 災害の復旧に要した経費
その他	公共物の維持や補修などのその他経費

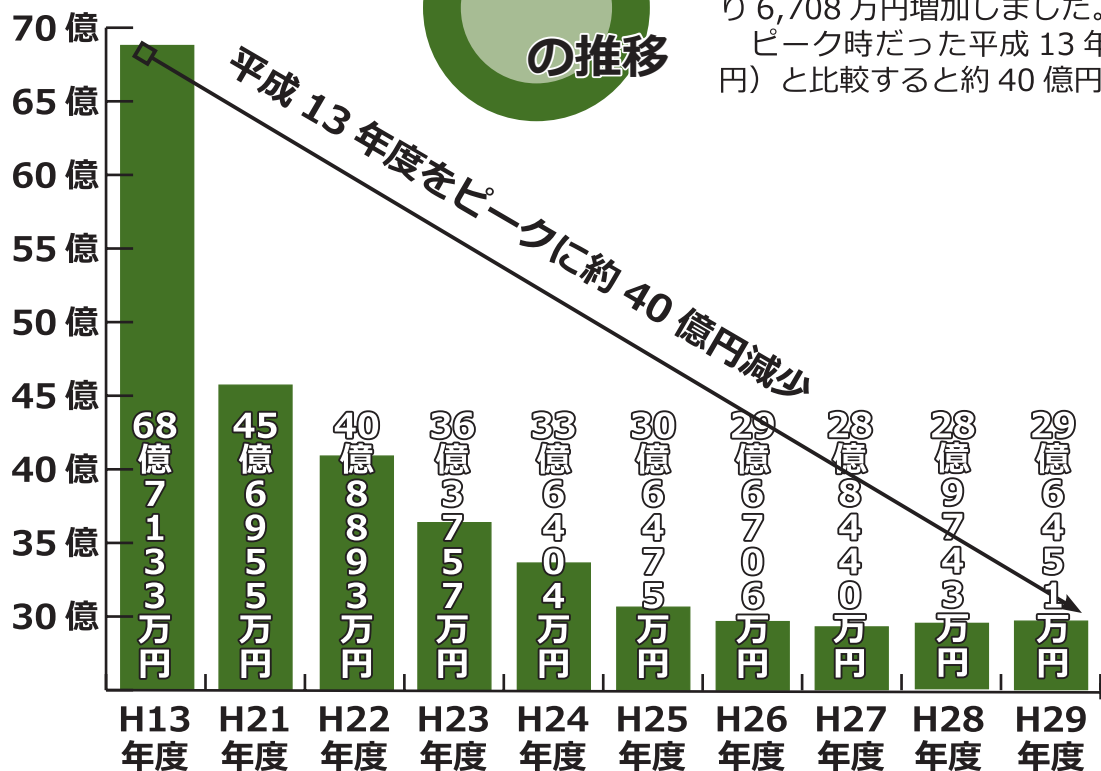


■ 義務的経費	15 億 3,746 万円
■ 投資的経費	6 億 9,705 万円
■ その他	32 億 146 万円
計	54 億 3,597 万円

まちの家計簿

町債(まちの借金) の推移

平成 29 年度末の町債（借金）残高は、29 億 6,451 万円で昨年（28 億 9,743 万円）より 6,708 万円増加しました。
ピーク時だった平成 13 年（68 億 7,133 万円）と比較すると約 40 億円減少しています。



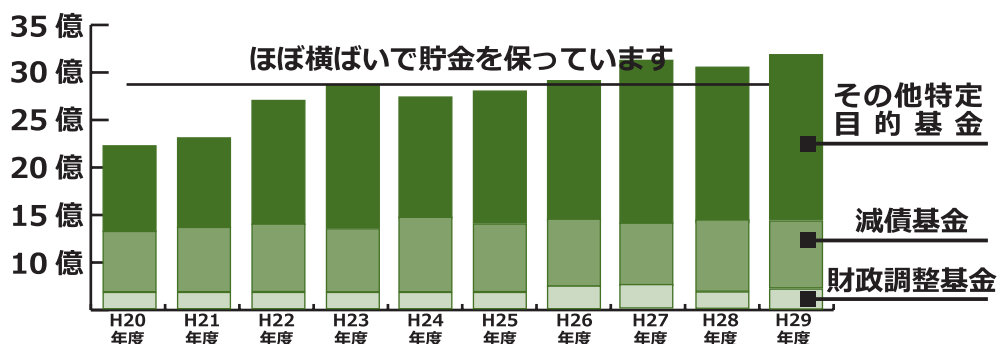
基金(まちの貯金) の推移

財政調整基金とは、災害復旧、その他緊急を要し、又は必要やむを得ない財政需要に応ずる財源を積立てるための基金です。

減債基金とは、町債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる町財政の運営に資するための基金です。

平成 29 年度は、企業等誘致推進基金等の積立により、年度末基金現在高が増加しています。

年 度	財 政 調 整 基 金	減 債 基 金	その他特定目的基金	年 度 末 基 金 残 高
平 成 20 年 度	3 億 1,598 万円	8 億 6,746 万円	11 億 723 万円	22 億 9,067 万円
平 成 21 年 度	3 億 1,632 万円	6 億 8,219 万円	13 億 5,413 万円	23 億 5,264 万円
平 成 22 年 度	3 億 9,642 万円	6 億 4,196 万円	15 億 8,794 万円	26 億 2,632 万円
平 成 23 年 度	3 億 3,478 万円	6 億 6,898 万円	18 億 2,420 万円	28 億 2,796 万円
平 成 24 年 度	3 億 3,513 万円	6 億 9,280 万円	16 億 1,196 万円	26 億 3,989 万円
平 成 25 年 度	3 億 7,597 万円	7 億 1,663 万円	16 億 5,616 万円	27 億 4,876 万円
平 成 26 年 度	4 億 8,600 万円	6 億 4,650 万円	17 億 2,390 万円	28 億 5,640 万円
平 成 27 年 度	4 億 1,648 万円	6 億 4,717 万円	21 億 6,542 万円	32 億 2,907 万円
平 成 28 年 度	3 億 6,660 万円	6 億 2,753 万円	20 億 6,076 万円	30 億 5,489 万円
平 成 29 年 度	3 億 4,676 万円	6 億 6,274 万円	22 億 2,096 万円	32 億 3,046 万円



ふるさと納税の状況について

(ふるさとづくり基金指定寄附金)

ふるさと納税の寄附受け入れと、充当状況をお知らせします。

ふるさと納税制度は、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設され、当町においても全国各地の皆さまから、多数のご寄附をいただいております。

平成29年度は、総額3億42万円のご寄附をいただきました。また、いただきました寄附金のうち、2億6,966万円を沼田町の更なる発展のため、有効に活用させていただきました。充当した事業は次のとおりです。

寄附金の充当状況

(平成29年度実施事業)

事業名	金額	内 容
1. 安心して暮らしやすいまちづくりを追求する事業	1,967万円	
医療・福祉・子育て支援事業	1,967万円	乳幼児・小中学生の医療費助成、高齢者世帯への灯油助成や子育て世帯への暖房経費助成、高校に就学する生徒の保護者への応援手当等に充当しました。
2. 活気あるまちづくりを追求する事業	1,433万円	
デザインコンセプトブック整備事業	214万円	沼田町のイメージを視覚的に理解いただける「デザインコード」を定め、公共施設等や印刷物に使用して町内外の方々にわかりやすい表示をするデザインコンセプトブック整備事業に充当しました。
その他の事業	1,219万円	住みやすい移住定住用住宅の整備、中小企業・商店街活性化を目的とした事業や、夜高あんどん祭り継承事業等に充当しました。
3. 教育環境に優れたまちづくりを追求する事業	3,086万円	
沼田学園推進事業	1,183万円	小中一貫連携教育推進のための事業に充当しました。
その他の事業	1,903万円	認定こども園で行う幼児教育事業、小中学校の補助教諭の配置、スキー場運営事業等に充当しました。
4. 地球環境に貢献するまちづくりを追求する事業	980万円	
森づくり環境保全事業	106万円	民有林等への植栽事業に充当しました。
その他の事業	874万円	雪を活用した研究や事業、ほたるの里の環境整備、環境美化推進活動等の事業に充当しました。
5. その他目的達成の為、町長が必要と認めた事業	1億9,500万円	
商店街活性化事業	3,528万円	町内の購買力維持や市街地活性化のため、市街中心部にスーパーマーケットをテナントに入れた「まちなかほっとタウン」の建設に充当しました。
医療・福祉・子育て支援事業	1億5,845万円	医療・介護・福祉が一体となった「暮らしの安心センター」の整備、認定こども園の運営補助等の事業に充当しました。
その他の事業	127万円	子育て世帯への通期費助成等の事業に充当しました。
合 計	2億6,966万円	



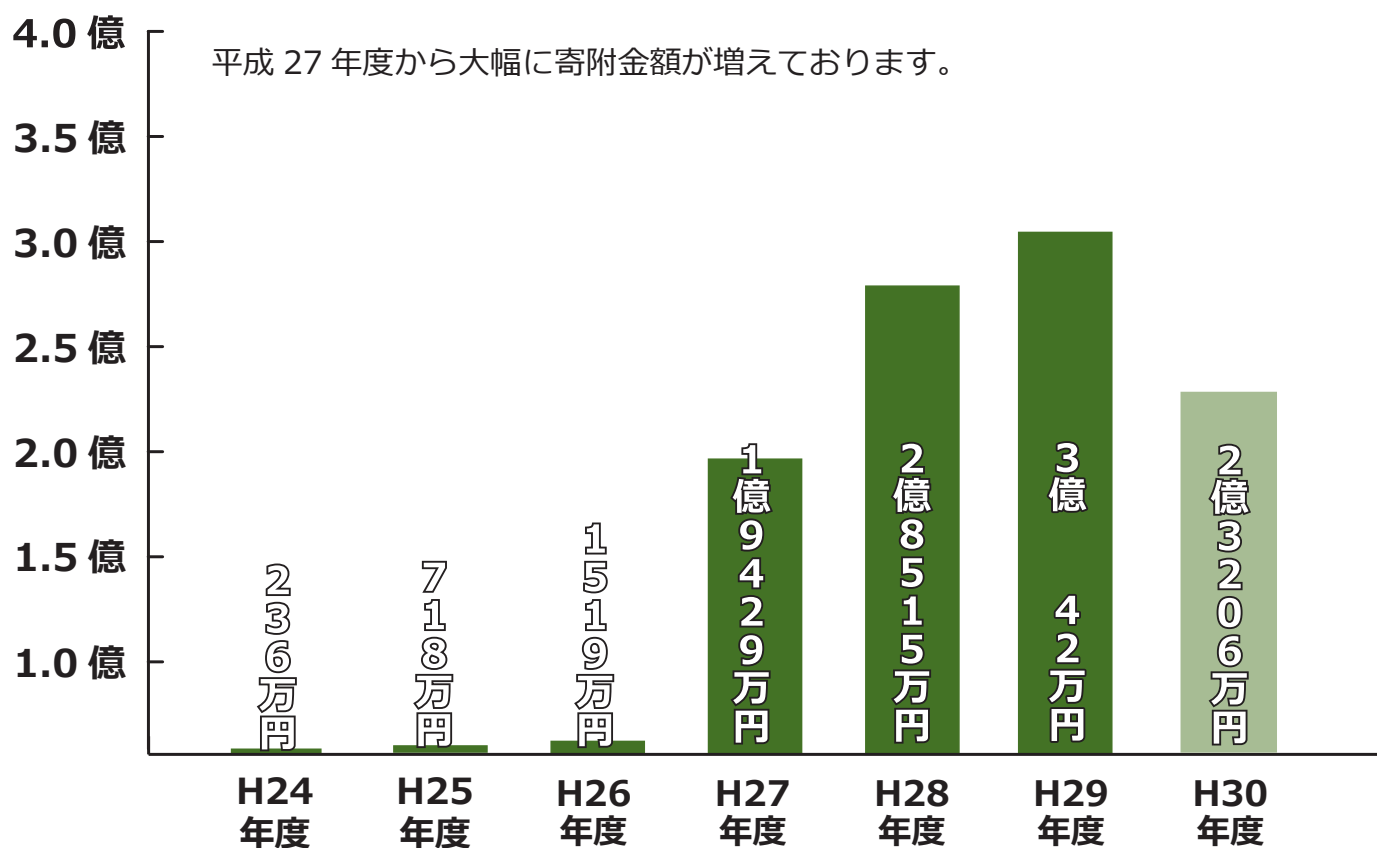
平成30年度は、11月末時点において2億3,206万円の寄附をいただいております。使途指定別の寄附金額の状況は次のとおりです。

寄附金の受入れ状況

(平成30年11月末現在)

事業区分		平成30年度	
		件数	金額
1	安心して暮らしやすいまちづくりを追求する事業	4,417	1億1,144万円
2	活気あるまちづくりを追求する事業	1,017	2,451万円
3	教育環境に優れたまちづくりを追求する事業	1,351	3,218万円
4	地球環境に貢献するまちづくりを追求する事業	858	1,944万円
5	その他目的達成のために町長が必要と認めた事業	1,854	4,449万円
合計		9,497	2億3,206万円

寄附金額の推移



※11月末現在

総 括

●人件費の状況【平成29年度（普通会計決算）】

歳出額	実質収支	人件費	人件費率	前年度
54億3,597万円	1億2,228万円	6億6,340万円	12.2%	10.7%

●職員給与費の状況【平成29年度（普通会計決算）】

職員数	給料	職員手当	期末・勤勉手当	合計
81人	2億4,718万円	5,297万円	1億541万円	4億556万円

●ラスパイレス指数（一般行政職）

平成24年度	平成28年4月1日	平成29年度
96.9	97.4	96.1

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

職員数の状況

●年齢別職員構成の状況（平成30年4月1日現在）

区 分	20歳 未 満	20歳 ～ 23歳	24歳 ～ 27歳	28歳 ～ 31歳	32歳 ～ 35歳	36歳 ～ 39歳	40歳 ～ 43歳	44歳 ～ 47歳	48歳 ～ 51歳	52歳 ～ 55歳	56歳 ～ 59歳	60歳 以 上	計
職員数	4人	8人	16人	13人	10人	14人	5人	21人	12人	7人	6人	0人	116人

●部門別職員数の状況（平成30年4月1日現在）

区 分	職員数		
	平成30年	平成29年	対前年比
議 会	2	2	0
総 務 ・ 企 画	21	22	△1
税 務	3	3	0
民 生	21	20	1
衛 生	7	6	1
農 林 水 産	10	10	0
商 工	5	5	0
土 木	4	3	1
教 育	10	10	0
水 道	1	1	0
下 水 道	1	1	0
そ の 他	31	31	0
合 計	116	114	2
	(138)	(138)	—

※（ ）は、条例で定めている職員の数です。その他は特別養護老人ホーム、介護保険事業、国保関係の人数です。

職員の平均給与月額・初任給等の状況

●職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成30年4月1日現在）

平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
39.6歳	30万4,740円	36万4,722円

●職員の初任給の状況（平成30年4月1日現在）

区 分	初任給
一般行政職	大学卒 18万700円
	高校卒 14万8,600円

●職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成30年4月1日現在）

区 分	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満
一般行政職	大学卒 24万500円	31万6,800円	35万8,300円
	高校卒 20万9,600円	27万4,300円	32万1,300円

職員手当の状況

●期末手当・勤勉手当（平成29年度）

平均支給額	29年度支給割合		加算措置の状況
140万円	期末手当	勤勉手当	役職加算5%～15%
	2.6月分	1.8月分	

●退職手当（平成30年4月1日現在）

勤続20年		勤続25年		勤続35年		最高限度額
自己都合	勸奨・定年	自己都合	勸奨・定年	自己都合	勸奨・定年	47.71月分
19.67月分	24.59月分	28.04月分	33.27月分	39.76月分	47.71月分	

●特殊勤務手当（平成29年度）

支給実績	平均支給年額	手当支給職員の割合	手当の種類
97万円	3万3,483円	24.7%	1種類

●時間外手当

区 分	支給実績	平均支給年額
28年度決算	2,838万円	24万3,000円
29年度決算	2,295万円	19万6,000円

特別職の報酬等の状況

（平成30年4月1日現在）

	区 分	給料月額・月額報酬	期末手当
給 料	町 長	78万9,000円（83万円）	4.40月分
	副 町 長	64万2,000円（66万9,000円）	
	教 育 長	57万6,000円（59万4,000円）	
報 酬	議 長	26万8,000円	4.40月分
	副 議 長	21万2,000円	
	常 任 委 員 長	19万4,000円	
	議 会 運 営 委 員 長	19万4,000円	
	議 員	17万7,000円	

※給料の（ ）は減額措置を行う前の金額です。

ぎゃくたい

虐待って？ 高齢者・児童・障がい者への虐待**○虐待は、自覚も無しに行ってしまうこともあります。**

虐待を行っている養護者（家族など）、介護施設などの福祉施設従事者（使用者）は、虐待に関する知識や気持ちに余裕がなかったり、感覚が麻痺してしまったりして、自分が虐待を行っているという自覚が無い場合があります。

○虐待の防止は、早期の発見と相談が重要です。

虐待は周囲には見えにくいものです。また、他者が口を出しにくいということもあります。しかし、虐待を止めることは、虐待を受けている高齢者・児童・障がい者はもちろん、虐待を行っている養護者などにとっても、絶対に必要なことです。

虐待を受けている方の生命や身体に重大な危険があることに気づいた人は、そのことを通報する義務があります。（通報者の秘密は守られます！）

**○虐待（受けている）かも？と思ったら、まず相談を！**

虐待を発見したり虐待を受けた場合には、虐待の種類に応じてそれぞれの担当する機関に相談や助けを求めてください！

○高齢者虐待に関する通報先・相談先

地域包括支援センター（役場保健福祉課）
北海道高齢者虐待防止相談支援センター
人権常設相談所（全国共通人権相談ダイヤル）

電話 35-2120
電話 011-281-0928
電話 0570-003-110

○児童虐待に関する通報先・相談先

役場保健福祉課
児童相談所（全国共通ダイヤル）
全国子育て・虐待防止ホットライン

電話 35-2120
電話 189(イハヤク)
電話 0570-011-077

○障がい者虐待に関する通報先・相談先

役場保健福祉課
北海道障がい者権利擁護センター

電話 35-2120
電話 011-231-8617

介護や子育て、障がい者支援に熱心であればあるほど、虐待が生じる可能性があります。困ったことがあればお気軽にご相談ください。

※お問合せ先 役場保健福祉課（福祉グループ） 電話 35-2120

このようなことが虐待にあたります！！

＜養護者（家族）や福祉施設従事者（使用者）等が行う行為＞

身体的虐待

殴る、つねる、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、ベッドに縛り付ける、やけど・打撲を負わせる、おぼれさせる、薬を過剰に服用させ身体拘束・抑制をする、無理矢理食事を口に入れる など



心理的虐待

怒鳴る、ののしる、悪口を言う、言葉による脅し、無視、兄弟間での差別的扱い、子供の目の前で家族に対して暴力をふるう（ドメスティック・バイオレンス：DV） など



放棄・放任 (ネグレクト)

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない、劣悪な環境で生活させる、長時間の脱水や栄養失調状態 など

高齢者への虐待 児童への虐待 障がい者への虐待



性的虐待

子どもへの性的行為・性的行為を見せる・ポルノグラフィの被写体にする、排泄の失敗に対する罰として下半身を裸にして放置する、わいせつな行為をしたり強要する など



経済的虐待

生活費を渡さない・使わせない、自宅等を本人に無断で売る、年金や貯金を本人の意志や利益に反して使用する など



深川警察署 沼田警察庁舎あんぜん広場

☎ 35-3110



緊急通報は 110 番、相談電話は「# 9110」に！

110 番は、緊急の事件・事故などを、いち早く警察へ通報するための緊急電話です。

110 番に出た警察官が、事件・事故の内容に基づいて必要な事項を質問します。慌てず落ち着いて正しく答えてください。

警察官が早く現場に到着できるよう、その場所の住所や付近の目標となる建物などを正しく伝えてください。

メール 110 番は、耳や言葉の不自由な方や、声を出せない状況にある方がインターネットに接続可能な端末の E メール機能を利用して緊急通報するシステムです。通報するときには「事件・事故の内容」のほか、「住所や目標となる建物」、「メールアドレス」を正しく入力してください。

緊急の対応を必要としない遺失物・拾得物の届出、諸手続に関する照会などは、最寄りの警察署、交番・駐在所の電話を、相談や警察業務に関する意見・要望は、短縮ダイヤル「# 9110」の警察相談専用電話をご利用ください。

冬道における交通事故の防止 ストップ・ザ・交通事故 ～めざせ 安全で安心な北海道～

◎スピードダウンと慎重な運転を

冬道では、スリップによる正面衝突の死亡事故が多発しています。

スピードダウンと路面状況にあわせた慎重な運転を心がけましょう。

◎交差点に注意

雪山で見通しが悪い交差点などでは、「車が来ているかもしれない」、「歩行者が横断しているかもしれない」と危険を予測して、徐行と安全確認を徹底しましょう。

◎悪天候に注意

吹雪や大雪など悪天候時の運転は、吹きだまりや視界不良による立ち往生等の危険が伴いますので、不要な外出は控えましょう。

やむを得ず車で外出するときは、事前に道路情報を確認するとともに、防寒具やスコップ等を準備しましょう。

◎明るい服装と反射材の装着

歩行者の方は、薄暮時や夜間に外出する時には、白色・黄色・赤色などの明るい色の服を着ることや、反射材、ライトなどを身につけて、自分の存在を周囲に知らせましょう。

犯罪の発生状況（平成 30 年 11 月末現在）

	空き巣	事務所 荒し	出店荒し	万引き	鉄板盗	自動車・ オートバイ盗	自転車盗	車上狙い	部 品 ねらい	詐 欺	軽 油 灯油盗	その他	合計
平成 30 年		2										2	4
平成 29 年	1		1							1		3	6

交通事故の発生状況（平成 30 年 11 月末現在）

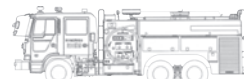
町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
平成 30 年	0	平成 30 年	40
平成 29 年	2	平成 29 年	57

町民が町外で第 1 当事者と

なった人身事故件数

平成 30 年	5
平成 29 年	1



沼田消防「防火標語コンクール！」について

沼田消防では、「暮らしの中の防火に関する標語」と題して、住宅火災の防止や、万一の火災に備えた住宅用火災警報器や消火器の設置などを呼びかける暮らしの防火標語を募集しています。

- 対象者 町内に在住するすべての方
- 募集期間 平成30年12月20日（木）から平成31年2月2日（土）まで
- 応募方法 ①沼田消防の入口に設置してある応募箱に直接持参する
②FAXにて応募する（沼田消防FAX番号 35-2563）
- 応募用紙 平成30年12月20日（木）発行の区長発送内
- 応募要件 応募作品は未発表で、ご自身が考えたものに限りです



※最優秀賞は沼田町火災予防の目標として、消防車庫の上に掲示します。



平成31年 沼田消防出初式の挙行について

平成31年1月8日（火）の13時30分から役場庁舎前において、新しい年が災害のない穏やかで希望に満ちた年になることを願って出初式が開催されます。町民皆様の安心・安全を守るための使命感で望む消防職団員の勇姿を是非ご観覧ください。



※この写真は、平成30年の出初式の様子です。悪天候により町民会館での開催となりました。

大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

沼田町
防火標語

『後にはしよう その油断が 火事になる』



協力して過ごした5日間！！「合宿通学」

11
19～23

11月19日（月）～23日（金）の4泊5日間、町内の小学4年生～6年生を対象に、宿泊交流センター「夢未来」において合宿通学を実施し、小学生13名（4年生9名、5年生4名）が参加しました。

合宿通学は、親元から離れて共同生活をする機会を提供し、衣食住に関する基本的な生活習慣の定着、お互いの立場や役割を理解し協力し合って生活することをねらいに毎年実施しているものです。

今年度は、北海学園大学の学生8名に運営のご協力を頂きました。

合宿通学中、子ども達は「家庭学習」や「朝の10分間読書」に毎日取り組み、特に「家庭学習」では、「学年×10分+10分」という目標時間を設定し、北海学園大学の学生に教えてもらいながら勉強に励んでいました。

最終日には、沼田町健康福祉総合センター「ふれあい」にて、子ども達が合宿通学中に学んだ料理の仕方や、日ごろの保護者への感謝の意を込めて食事交流会が行われました。食事交流会の中で、子ども達は、笑顔で合宿通学の思い出を話していました。



新規事業「町民交流フェスタ」

12
2

町民同士が交流と親睦を深めながら、教養や趣味の幅を広げ、生きがいや生涯学習活動の活性化を図ることを目的として、「町民交流フェスタ」を生涯学習総合センター「ゆめつくる」で開催しました。

当日は、約300名の町民が来場し、幅広い世代に楽しんでもらうため、沼田町内で活動をしている個人、サークル、団体にご協力を頂きました。絵手紙やハーブソープ作りなど、10種類の体験コーナーを行いました。

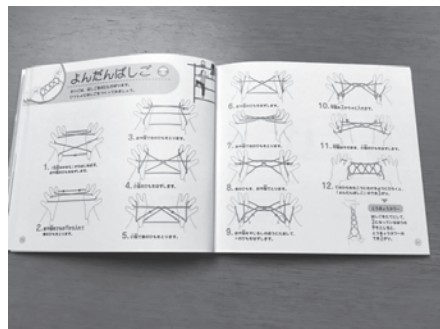
プラモデル展示会では、プラモデラーとしても活躍する佐藤健司さんによる数多くの作品が展示されたほか、プラモデル作り体験教室が行われ、はじめてプラモデルを作る子ども達の真剣な眼差しが印象的でした。また、沼田雪中そば倶楽部の「かけそば」や役場青年女性部の「ハヤシライス」も大好評でした。今回の体験や交流を、この冬の活動につなげて頂ければ幸いです。



お問い合わせ … 沼田町教育委員会（TEL 35-2132）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <http://blog.canpan.info/numakyouui/>





クリスマスが終われば、すぐにお正月の準備が始まります。お正月は、おせちを食べたりテレビ番組を見たりしながらゆっくり過ごすご家庭も多いのではないのでしょうか。しかし、テレビばかりでは飽きてしまうこともあると思います。そこで、今月は空いた時間で楽しめる本を紹介したいと思います。

まず紹介するのは、あやとりの本『親子のあやとりBOOK』です。紐があれば遊べるあやとりは、空いた時間でさっとできるのがポイントです。ひとりあやとりのほか、二人でつくるものや指抜きのように手品になるものまで様々なものが載っています。

次に紹介するのはトランプの本です。トランプで定番の遊びといえば、ばばぬきや神経衰弱でしょうか。この他にも、ぶたのしっぽ・7ならべ・大富豪・ポーカーなど様々な遊び方があります。トランプで遊びたいとき、ぜひ『たのしいトランプワールド』を読んでみてください。定番のゲームやおもしろカード手品なども載っているのでおすすめです。

今回紹介した本以外にも、『ウォーリーをさがせ』のように絵を探す本や『アハ! 体験』のような脳トレ本など図書館には色々な本があります。図書館に来館した際はぜひ手に取ってご覧ください。

新刊図書

《一般書》

ハラスメントゲーム
四十歳、未婚出産
老後の資金がありません
野の春
神さまを待っている
30代の働く地図
ラストレター
追伸 新装版
一億円のさようなら
すぐ死ぬんだから
向日葵のある台所
どんな災害でもイヌといっしょ

井上 由美子
垣谷 美雨
垣谷 美雨
宮本 輝
畑野 智美
玄田 有史
岩井 俊二
森 雅之
白石 一文
内館 牧子
秋川 滝美
徳田 竜之介

《児童書》

空とぶラビ
ぎりぎりの本屋さん
日本史探偵コナン外伝 将棋編
日本史探偵コナン外伝 国宝編
100にんのサンタクロース

手塚 治虫
まはら 三桃
青山 剛昌
"
谷口 智則

新刊図書おすすめ!!

『沈黙のパレード』 東野 圭吾



秋祭りのパレードで起きた殺人事件の容疑者はかつて草薙が担当した少女殺害事件で無罪となった男。だが男は証拠不十分で釈放され、堂々と遺族達の前に現れる。超難問に突き当たった草薙は、アメリカ帰りの湯川に助けを求め…。

『クリスマスだよ、デイビッド!』

デイビッド・シャノン



もうすぐクリスマス。いたずらっこのデイビッドは、みんなから「だめよ!」と言われてばかり。サンタさんからのメッセージには「きみはわるいこだから、せきたんしかあげません」と書いてあり…。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できるようになっています。検索は、沼田町教育委員会のブログのリンク集からどうぞ。

<http://blog.canpan.info/numakyoui/>



祝 農業者結婚祝金を支給

12月3日(月)沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会(沼本一郎会長)から、更新の岡田和久・明日美夫妻へ農業者結婚祝金が交付されました。

交付された岡田さんは「お世話になっている方々に感謝しながらこれからも農業に取り組んでいきます。」と話されていました。



東京沼田会 会 員 募 集

東京沼田会(田坂勝芳会長)では、首都圏にお住まいの会員を募集しています。

沼田町に縁があり、遠く離れた郷里沼田町を応援していただけるご家族・ご友人をご紹介します。

【主な活動】○会報の発刊

○沼田町が首都圏で実施する事業などへの参加及び協力

○総会及び懇親会

お問い合わせ 総務財政課広報情報グループ 電話 35-2111

人の動き

(平成30年11月30日現在)

人 口 3,131人(前月比 △8人)
男 性 1,488人(前月比 △2人)
女 性 1,643人(前月比 △6人)
世帯数 1,514世帯(前月比△4世帯)

■総人口増減内訳

増加) 転入: 6人 出生: 2人
減少) 転出: 7人 死亡: 9人

交通事故死ゼロ

(平成30年12月20日現在)

2,356日継続中!!

瀧本	中川	浦	西川	篠原	城岡
典子さん	敬吉さん	松雄さん	正さん	務さん	和夫さん
11月28日	11月26日	11月25日	11月22日	11月21日	11月19日
78歳	58歳	93歳	86歳	93歳	70歳
中 央	仲町西	旭町東	市1南	旭町東	仲町西

お
く
や
み

〜広報担当のつぐやき〜

新年あけましておめでとございます。

今年(亥年)です。イノシシは北海道ではあまり慣れ親しみの少ない動物ではあるかもしれませんが、1年間はなにかと意識する年になりそうです。人間よりも足が速く泳ぎも得意で運動神経抜群な動物だそうです。ちなみに猪肉は栄養価が高く病氣予防になることから、無病息災の象徴とされています。

「猪突猛進(ちよとつもうしん)」: 何かに向かって一心不乱に突き進むことを意味することわざです。とにかく目標に向かって全力で取り組む1年にしていきたいですね。

まちの広報活動を確実に行うべく、猪突猛進いたします。どうぞ今年もよろしく願います。

広報情報グループ(阿部)